

## 川崎区 障害者地域自立支援協議会 年間活動報告

### <川崎区自立支援協議会の特徴>

- ① 川崎区は市内の区の中で一番面積が広く保健福祉センターと2つの支所があり、事業所も多い為、多数の構成員で形成されています。
- ② 月に1回の協議会を開催しています。その他に各グループでの活動を行い、協議会を盛り上げています。

### <今年度の目標と方向性>

1. 昨年度の振り返りから、部会活動を中心に行っていきます。
  - ① 災害対策部会 <目標> 地域から川崎区への提言づくり。  
当事者より、災害に対しての不安あり、取り組めないかという意見がでました。
  - ② 入浴部会 <目標> 家以外の入浴の場所を確保する  
「入浴」に関する取り組みについて、引き続き行い、なんらかの形にしたいとの意見があり、今年度も引き続き活動を行うことになりました。
  - ③ 広報部会 <目標> 協議会の存在の周知。着実に実績を残していく。  
田島養護学校から、卒業後のこと、生活支援センターの事、年金の申請の事など、情報がほしいとの希望あり、自立支援協議会で取り組むことになりました。
2. 事前アンケートより、構成員が参加しやすい第2火曜日に変更し、活発な活動が出来るよう目指します。

### <今年度の区全体会議>

**第1回 4月18日(水) 13:30~15:45** 川崎区役所にて

自己紹介、自立支援協議会の体制の確認  
平成24年度の区全体会議の活動について  
部会3つ(広報・入浴・災害)の提案。所属希望の確認

**第2回 5月8日(火) 14:00~16:30** 南部身体障害者福祉会館にて

小グループ活動(入浴・広報・災害対策部会)年間計画・部会長・目標設定  
課題整理表の検討「独居の障害者の医療行為における同意書について」

**第3回 6月15日(水) 13:30~16:30** 南部身体障害者福祉会館にて  
小グループ活動

- ・ 広報部会(かわさき市民祭り不参加、養護学校保護者向け説明会の実施について、地域の事業者向け、区全体会議の報告会の開催について)
- ・ 災害対策部会(地域の災害対策における課題の検討)
- ・ 入浴部会(近隣の入浴実施事業所の見学先決定、見学時の質問内容の整備)  
課題整理表の検討「聴覚・視覚障害者と認知症母との生活における支援について」



## 幸区障害者地域自立支援協議会

### <幸区自立支援協議会の特徴>

- ①ワーキングチームを作り、構成員の役割を明確化することで、活動を活性化させます。
- ②ライフステージごとに切れ目のない支援を行うために、各福祉機関との連携を深めます。

### <昨年度の取り組み>

- ①連携部会…田島養護学校、鶴見養護学校の地域支援担当者と連携し、それぞれの学校に通所する生徒の保護者を対象に学校卒業後のイメージを持っていただくための出張研修会を実施。また、地域包括との意見交換会を実施しました。
- ②広報部会…福祉の関係機関への広報として、広報誌の発行、自主製品の区役所内展示を実施しました。また、地域の広報活動として、日吉まつりに参加、広報誌の発行を行いました。
- ③当事者部会…当事者の想いや現在困っていることなどを把握するため、幸区の通所施設に通所されている方、単身生活をされている方、ホームで生活されている方を対象にアンケート調査の実施を行いました。
- ④課題整理部会…事例を協議会構成員が各自持ち寄り、検討し、幸区の課題を抽出しました。また、区では解決できない課題については市へ提出させていただきました。

### <今年度の取り組み>

- ①連携部会…昨年度に引き続き養護学校、地域包括との連携を図ります。また、地域に大きく関わりのある民生委員との連携を図るべく、民生委員の活動や、民生委員が抱えている悩みなどを聴き取るためのアンケート実施を考えています。社協との連携も検討中。
- ②広報部会…広報誌の発行、区役所展示の実施、日吉まつりの参加、7月に民生委員アンケートに同封する自立支援協議会の説明を作成します。
- ③当事者部会…昨年度のアンケート結果にあった「余暇の充実」を元に、幸区内にあるお勧めスポットを紹介する幸ウォーカーの作成を当事者の方たちと進めていきます。
- ④課題整理部会…昨年度の課題整理表であがった、「成人期のナイトケア」についてニーズの調査、傾向の分析、事業計画の作成、他地域の調査の実施を進めていきます。

※今年度から南部療相、ヘルパー事業所、精神分野が新たに加わり、メンバーが増えたことで、さらに厚みを増した話し合いや、意見交換が期待されます。また、各部会では昨年度あがった課題や、ニーズに対し、さらに良い地域づくりをしていくためにはどうしたらよいかを話し合い、自立支援協議会の活動の幅を拡大していけたらと考えています。



## 中原区障害者地域自立支援協議会

### <中原区自立支援協議会の特徴>

- ① 保健福祉センターと相談支援事業所を中心に、障害福祉サービス提供事業所、教育機関、日常生活自立支援事業、法人後見受託法人、当事者と構成員も多岐になっています。
- ② 月1回の全体会議にむけて、保健福祉センター・基幹型相談支援事業所による事務局会議、事務局と地域型相談支援事業所による全体会議準備会を毎月実施しています。
- ③ 川崎市リハビリテーション福祉・医療センターがあり、公的機関・事業所が多い一方、再編整備による民間法人等の指定管理受託で、今後も変化が予想されます。

### <今年度の目標と方向性>

- ① 個別のニーズや課題を集め、制度や地域として共通する課題の抽出と整理をしていく。
- ② 共通の課題については、何故生じているのか、その課題に対して現在はどうに支援・対応しているのかの実情を共有し、検証する。
- ③ 中・長期的に協議会として調査活動や検証等が必要と整理した特定の課題として、地域社会からの理解や啓発、新たな社会資源の開発・改善に係る協議への推進の一助を担えるよう、今年度はまちづくり部会・地域移行部会・児童部会を設置し検証していく。

### <今年度の区全体会議と専門部会>

#### **第1回 4月20日(金) 14:00~17:00 中原区役所にて【全体会議】**

各事業所の担当自己紹介と事業所紹介

今年度の中原区障害者地域自立支援協議会について

- ① 自立支援協議会とは
  - ② 昨年度までの取り組みと年間予定についての検討
- その他

「誰もが暮らしやすいまちづくりのためのニーズ調査」報告

#### **第2回 5月20日(金) 15:00~17:00 サン・ライヴにて【全体会議】**

今年度の中原区障害者地域自立支援協議会について

- ① 今年度取り上げる課題の選出について

(構成員からの課題整理表をもとに検討)

「地域に向けた広報・渉外活動」担当毎での年間計画と方針の策定

その他

「平成23年度中原区障害者地域自立支援協議会のまとめ」冊子について

#### **第3回 6月15日(金) 14:00~17:00他 サン・ライヴにて【専門部会】**

まちづくり部会・地域移行部会・児童部会

上記ごとで設定。年間での取り組み内容の検討と目標策定を中心に実施。



## 高津区 障害者地域自立支援協議会

### 🍌 <高津区自立支援協議会の特徴> 🍌

- ① 相談支援事業所と保健福祉センターを中心に、構成員は22名となっております。月1回の全体会議にむけて、事務局会議（準備会）を実施しています。全体会議の流れは、各種会議の報告及び課題の検討、個別支援経過報告（事例発表）、各グループの取り組みとなっております。必要に応じて、グループの検討の場面を設定しています。
- ② 各グループの取り組みは、3グループに分かれていて、相談支援・課題整理・ボランティア育成となっていて、それぞれのグループが中・長期的な目標に向かって、鼎立しています。

### 🍌 <今年度の目標と方向性> 🍌

- ① まず、中・長期的な目標に向かって、2年目の取り組みを、具体的な活動を発信できる年度と捉えています。また、講演会を実施し、地域に対する宣伝活動も実施します。
- ② 個別支援経過報告（事例発表）は、毎月実施します。年間スケジュールの従い、各構成メンバーが提出できるように配慮します。
- ③ 各グループの動きが不透明にならないように、定期的な報告を実施します。各グループの取り組みで、他グループとの連携が必要な場面では、協力を依頼する体制作りを行います。あくまでも5年後の身近な地域である高津区を創造しながら、進めていきます。
- ④ 必要時に応じて、基幹型相談支援事業所と保健福祉センターで緊急の会議も実施します。

### 🍌 <今年度の区全体会議> 🍌

#### 第1回 4月24日（火）13：30～17：00 高津区役所にて

新メンバー紹介（県立高津養護学校）及びメンバーの自己紹介  
高津区障害者地域自立支援協議会の機能と活動内容について確認  
市障害者地域自立支援協議会事務局会議報告及び新体制についての確認  
障害者虐待防止法施行に向けた講演会の企画についての検討  
各グループの取り組み（①相談支援 ②課題整理 ③ボランティア育成）

#### 第2回 5月22日（火）13：30～17：00 高津区役所にて

各種会議等の報告（①市事務局会議②高津区まちづくり協議会③虐待防止研修）  
障害者虐待防止法施行に向けた講演会の企画についての検討  
課題整理表の検討（施設入所支援が決定された方が、日中もセットと言われた件）  
各グループの取り組み（①相談支援 ②課題整理 ③ボランティア育成）

#### 第3回 6月26日（火）13：30～17：00 高津区役所にて

各種会議等の報告（①市運営会議②講演会講師との打ち合わせ③障害計画課説明）  
課題整理内容の検討（施設入所支援と生活介護）  
講演会のスケジュール等について  
個別支援経過報告（体重増加で引きこもりの知的障害在宅ケース）  
各グループの取り組み（①相談支援 ②課題整理 ③ボランティア育成）





## 宮前区障害者地域自立支援協議会

### <宮前自立支援協議会の特徴>

- ① 保健福祉センターと相談支援事業所等を事務局とし、当事者の方、障害福祉サービス提供事業所、養護学校、療育センター、まちづくり協議会、社協、と構成員が多岐にわたっています。現在、構成員は33名となっています。
- ② 検討課題を各部会に分けて役割を明確にすることで活動を活発化させ、月1回の全体会で報告し情報を共有しています。
- ③ 全体会にむけて、保健福祉センター・精神保健福祉センター・基幹型相談支援事業所・地域型相談支援事業所による事務局会議を月1回開催しています。

### <今年度の目標と方向性>

- ・全体会では、日ごろの業務の中で感じる課題などの情報共有、情報交換を行える場所となるよう内容の工夫をしていきます。また、会議をより有意義にしていくために勉強会や研修も企画していきます。
- ・部会での活動については、昨年度と引き続き課題を検討していきます。各部会の目標は下記のとおり。

#### ○重度障害・高齢部会

昨年度の高齢部会と重度障害部会を一つの重度障害・高齢部会としました。

- ・介護保険通所施設への移行が難しい方が、どのような事に困っているかを把握するため、区内の65歳以上の障害者の方々の実態調査を行いたいと考えています。また、60歳程度の障害者手帳取得している方に、65歳からの介護保険サービス移行について当事者の方のご希望等を聞ければと考えています。
- ・介護保険サービス従事者や地域住民が、障害がわからないために支援の連携が行いにくい事や不安があることから、地域包括支援センターとの継続した交流会や研修・広報・交流部会と連携し、障害に対する啓発を目的にした広報活動を実施していきます。

#### ○児童部会

児童の関係機関と連携をとれるよう研修会等を実施していきます。昨年度出てきた課題として「サービス情報の提供の不足」があったので、養護学校や特別支援コーディネーターとの連携を模索していきます。

#### ○研修・広報・交流部会

下記の検討をしていきます。

- ・障害者の住まいについての研修会
- ・広報の仕方についてのマニュアル作り
- ・交流会の継続企画
- ・「ほっととらいあぐる」の編集
- ・障害者サポーター事業に関する検討
- ・相談支援事業の認知度を高める広報活動

<今年度の区全体会議>

第1回 4月12日(木) 13:30~17:00

- ① 各事業所あいさつ、新規加入事業所の紹介、今年度について
- ② 全体会の年度計画
- ③ 活動報告(れいんぼう川崎)
- ④ その他(地域包括との交流会について)
- ⑤ 各部会の打ち合わせ

第2回 5月10日(木) 13:30~17:00

- ① 各部会の打ち合わせ
- ② 各部会からの報告
- ③ 活動報告(らいむらいと)
- ④ その他

第3回 6月7日(木) 13:30~17:00

- ① 各部会の打ちあわせ
- ② 各部会からの報告
- ③ 講演会報告集について
- ④ 事務局会議報告
- ⑤ その他

## 宮前区自立支援協議会24年度年間スケジュール

	児童	重度障害	研修・広報・交流	高齢	課題整理	全体会
4月	年度確認 課題抽出	課題抽出			各構成員から上がってきた課題整理表を事務局で整理し、全体で協議をする。それ以外の課題の抽出方法については、今後事務局で検討する予定。	れいんぼう活動報告
5月	事例検討	↓	広報の仕方のマニュアル化(情報収集)			らいむらいと活動報告
6月			広報の仕方のマニュアル化(整理)			研修報告書について
7月	課題整理	課題整理 取組み内容検討	広報の仕方のマニュアル化(まとめ)	障害者手帳取得者の65歳以上実態調査		赤塚先生をお呼びして。内容は今後検討。
8月	課題への取り組み・川崎市立養護学校夏季教育公開研修への参加	↓	ほっととらいあんぐる(内容検討)			高齢者虐待防止法について
9月			ほっととらいあんぐる(発行)			児童について
10月		課題への取り組み	区民祭への参加(認知度を高める仕掛け)	障害者手帳取得者60歳以上における介護保険サービス移行調査(1月まで)		活動報告
11月	研修会開催	↓	第2回地域交流会	地域包括支援センター 社会福祉士部会交流会		オリオン、精神保健福祉センター 活動報告
12月			研修会(「住まいに関する研修」)			障害者虐待について
1月		↓	障害者サポーター事業立ち上げ			
2月	年度まとめ		年度まとめ		年度活動報告まとめ	
3月						

※区自立支援協議会は毎月第1木曜日、サービス調整会議は毎月第3月曜日に開催予定。



## 多摩区障害者地域自立支援協議会 年間活動報告

### <多摩区自立支援協議会の特徴>

- ① 昨年度、当事者参加に向け、公募により当事者を募集し、今年度から当事者の方にも参加していただき、現在5名の当事者と3名の家族の方が参加し活動している。
- ② 当事者を含め、各構成員が5つの部会に分かれて活動し、その活動内容を月1回行われる全体会で共有した。

### <今年度の目標と方向性>

「地域の人とつながりをつくる」をスローガンに、昨年度から活動している課題整理部会、日中活動部会、ライフサイクル部会、災害対策部会の4部会に加え、今年度はさらに就労部会を設置し、5部会で取り組む。今年度は当事者の再募集も予定している。

#### ・各部会の今年度の目標

- ① 課題整理部会  
「多摩区・麻生区共同でグループホーム・ケアホーム実態調査」
- ② 日中活動部会  
「軽度知的障害者の交流の場の開催と余暇支援の事業展開している場所の情報収集」
- ③ ライフサイクル部会  
「つなぎ（児童～成人～高齢期）やサービスについて取り組む」
- ④ 災害対策部会  
「おたすけカードの追跡調査、制度の勉強会」
- ⑤ 就労部会  
「就労についての視点の共有化」

### <今年度の区全体会議>

第1回 4月 3日（火）13：30～16：30 多摩区役所にて

今年度の自立支援協議会について

- ①作年度までの取り組み ②各部会の報告

第2回 5月1日（火）13：30～16：30 多摩区役所にて

- ①各部会の報告 ②部会ごとの話し合い（それぞれ小グループに分かれて検討）

第3回 6月 7日（火）13：30～16：30 多摩区役所にて

- ①各部会の報告 ②研修についての話し合い  
その他 川崎市自立支援協議会運営会議の報告



## 麻生区 障害者地域自立支援協議会

### <今年度の目標と方向性>

- ①今年度重点テーマは、麻生区の福祉ニーズについて、障害の各分野から事例検討を行い、麻生区の地域福祉の課題を整理していく。
- ②部会や系の充実を図り、障害者（児）への支援をすすめていく。

### <今年度の区全体会議>

第1回 4月18日（水）13：30～16：00 福祉パル麻生 会議室

1. 平成24年度の実施体制について

- ①部会・係（名称・メンバーなど） ②区自立支援協議会（目的・趣旨）について③開催要項 ④年間スケジュール ⑤構成員 ⑥開催場所 ⑦役割分担

2. 部会・係協議

第2回 5月20日（水）13：30～16：00 麻生区役所 第3会議室

1. 事例検討の進め方

2. 部会・係協議

第3回 6月20日（水）13：30～16：00 麻生区役所 第2会議室

1. 各部会・係報告

2. 事例検討 本人はじめ家族全員に支援が必要なケースについて  
地域の課題：成人した発達障害者の通所先が不足している。

### <具体的な取り組み内容>

#### ①協議会全体での取り組み

##### 【開催内容】

- ①区自立支援協議会全体会議：事例検討を年3回実施
- ②部会：児童部会、当事者参加部会、グループホーム・ケアホームのあり方部会
- ③係：課題整理係と広報啓発係
- ④区自立支援協議会運営会議
- ⑤サービス調整会議

#### ②部会・係の取り組み

##### 1) 児童

目標：児童期に関わる全体像を見逃さずひろう。

計画：これまで行ってきたことの整理を行う。広報の方法を確認する。相談支援を行う  
制度利用のためのフローチャート作成。

##### 2) 当事者

目標：平成25年1月から当事者構成員の増員する。

計画：募集要項作成（募集対象者、定員、任期）、募集に関する広報、説明会の開催、選考方法について検討し実施する

3) グループホーム・ケアホームのあり方部会・(課題整理係兼務)

目標：グループホーム・ケアホームの調査を行う

計画：区内のグループホーム・ケアホーム 50 か所に秋からアウトリーチ形式で調査する。

4) 課題整理係

目標：①災害 ②ネットワーク ③GH・CH ④短期入所について取り組む。昨年度未協議の課題整理協議を引き続き行う。

計画：災害…障施協の3.11 対応等に関するアンケート内容から区で共有できる課題を確認する。

ネットワーク…広報啓発と連携する。

グループホーム・ケアホーム…部会として協議する。

短期入所： 数年前の市自立支援協議会運営会議での取組みについて確認を行っていく。

5) 広報啓発

目標：協議会としての広報紙を年3回作成する。事業所紹介冊子の修正

計画：町会や民生委員の会議などに参加、「ほほえみ」の掲載、広報紙発行（年三回）

社協のホームページとの連携